

自分の生活スタイル(ライフ・スタイル)の中に、勉強のスタイル(ラーニング・スタイル)を持つとう
- 「勉強の方法」をたえず工夫しよう -

開倫塾
塾長 林 明夫

Q：自分の「生活スタイル」の中に「勉強のスタイル」を持つとうとは、どういうことですか。

A：(林明夫：以下省略)待ちに待った春が訪れ、新しい学年や新しい学校での生活がスタートします。これまでの生活を振り返って、自分にとって大切と考えるものや自分の得意分野にもっともっと磨きをかけ、素晴らしいものになるまで、納得いくまで徹底的に突き詰めましょう。

また、新学年や新しい学校で勉強するのだから、これだけは改めたいということがあれば、少しずつでよいですから、どんな些細なことでもこの際改めていきましょう。人生で大切なことは、自分なりに納得して「よく生きる」ことだと私は考えます。「よく生きる」とは何かと言えば、「毎日の生活を大切にすること」。できるだけ自分の「理想とする生活スタイル」、「理想とする生活の仕方(英語で言うところのライフ・スタイル)」を心掛けることだと私は考えます。春になり、新しい学年や新しい学校で学ぶことになるのですから、この1年どのような生活を送りたいのかを、始業式や入学式の日までに十分考えておくことをお勧めします。

皆様がこの文章をお読みになるのは3月初旬だと思いますので、1か月かけてゆっくりお考え下さい。次の学年になったらどのような生活をしようか、新しい学校に入学したら何をしようかを事前に十分な時間をかけて考え、自分の考えをまとめておくことはとても大切です。

Q：「よく生きる」ことは、「毎日の過ごし方」を「理想の生活」にできるだけ近づける。新学年や新しい学校はそのよいきっかけになる。ただ、4月に入ると急に忙しくなるので、3月から1か月をかけて十分考えをまとめておくとうよい。このような考えですか。

A：はい、その通りです。よくまとめて下さいましたね。大切なことは、次の学年や次の学校で何をするのか、何がしたいのか、そのために自分としてはどのような生活を理想とするのか。自分の頭で十分考え、練り上げ、自分の考えを明確にしておくことです。できれば、たとえ一行でもよいので、「文章」にして手帳や日記帳にまとめておくことをお勧めします。

Q：自分の「ライフ・スタイル」と同時に「勉強スタイル(ラーニング・スタイル)」を持つとうとは、どういうことですか。

A：小学生や中学生、高校生、大学生の仕事とは何かと言えば、「学校に行き、勉強すること」です。児童(小学校で学ぶ人を児童と言います)、生徒(中学校や高校で学ぶ人を生徒と言います)、学生(大

学で学ぶ人を学生と言います)の本分(「ほんぶん」と読みます。「なすべきこと」という意味です)は何かと言えば、学校で真剣に「勉強」することです。

部活動や学級会活動、児童会・生徒会活動、学校行事、当番制度、特にそうじなど、教科以外の勉強は極めて大切です。日本の学校教育が世界で一番優れているのは、教科以外の勉強(「隠れたカリキュラム」と呼ばれているようです)であると、一昨年にフィンランドのタンペレで開かれた世界カリキュラム研究大会で多くの国の人から言われました。世界一と言われる教科以外の「勉強」も大切にしてくださいね。

ただし、「教科以外の勉強」と同様に大切なのが、「教科の勉強」です。この「教科の勉強」の上で欠くことができないのが、授業や自習で一度うんなるほどと十分「理解(study スタディ)」した内容を「定着させる」つまり「身に付ける(Learn ラーン)」方法を学び取り、確実に身に付けることです。なぜ学校の成績や受験の時の偏差値が上がらないのかというと、一度「理解」したことを「定着(身に付ける)」する能力が不足するからだと言えます。学んだことを身に付ける(Learn ラーン)にはどうしたらよいか、理想の「ラーニング・スタイル」を一日も早く身に付けて、毎日の生活の中に組み入れて頂ければと希望します。

Q：最後にお聞きします。「ラーニング・スタイル」とは何ですか。

A：一度「理解」した内容を、何十回、何百回も「音読練習」「書き取り練習」「計算(問題)練習」を繰り返して「完全に身に付ける」ことです。「練習、練習、また練習」以外、学校の成績大幅アップ、偏差値大幅アップはありません。

努力は必ず報われます。頑張りましょう。

- 2008年2月20日羽田空港にて記す -